



今月の先生

岐阜市民病院
山本 和重 氏
産婦人科部長
産婦人科内視鏡部長

昭和55年岐阜大学医学部卒業
昭和61年9月岐阜市民病院産婦人科勤務
平成14年岐阜市民病院産婦人科内視鏡部長
平成20年岐阜大学医学部客員臨床系医学准教授
日本産科婦人科学会専門医
母体保護法指定医
日本産婦人科内視鏡学会技術認定医
日本産婦人科内視鏡学会技術認定制度技術審査委員
日本内視鏡外科学会技術認定医

性感染症は、クラミジア、HIV感染やエイズなど様々ですが、中でも最も流行している、多くの問題をかかえている「性器クラミジア感染症」についてお伺いしました。

Q1 性器クラミジア感染症とはどのような病気でしょうか。

A 性感染症のうちのひとつの病気です。性感染症とは性的接触即ち性交やオーラルセックスなどによって感染する病気です。性感染症には10種類以上の病気があります。その主なものには、梅毒、エイズ、淋菌感染症、性器クラミジア感染症、性器ヘルペス、尖圭コンジローマ、毛じらみ症などがあります。その中で、最も流行していて、しかも多くの問題をかかえているのが性器クラミジア感染症です。日本におけるクラミジア感染者数は100万人以上と言われています。女性の年齢別分布を見ますと、一番感染率が高いのは20〜24歳、次は15〜19歳、僅かの差で25〜29歳と、若い人が標的になっています。クラミジアに感染していると、他の性行為感染症やエイズの感染率が飛躍的に高くなると言われています。

Q2 原因はわかっているのでしょうか。

A クラミジアの1種であるクラミジア・道経由で前立腺炎・副睾丸炎(精巣上体炎)・肝炎・腎炎になる事があります。女性の場合は子宮頸管炎・子宮内膜炎・卵管炎になり、進行すると骨盤腹膜炎、卵巣炎になったり肝周囲炎(右脇腹痛)を引き起こしたりもします。そしてその後の不妊症や異所性妊娠(卵管妊娠)の原因となる事が多いです。また正常に妊娠しても妊娠中に絨毛膜羊膜炎をおこし流産・早産の原因になりますし、分娩時の産道での感染により、新生児に結膜炎・肺炎を発症することがあります。自覚症状に乏しいため、感染に気付かず保菌している場合が多いようです。喉に感染すると喉が痛くなり痰が増えたりしますが、無症状の場合もあります。

Q4 診断について教えてください。

A 診断ですが、患部から体液(咽頭では拭い液)を採取、もしくは採尿し、クラミジアの有無を調べます。採血検査で抗体の有無を調べることもあります。

Q5 治療について教えてください。

A 治療ですが、どこに感染しても治療法は同じで、クラミジアに効果がある抗菌剤を服用する事で治療できます。従来は

トラコマチス菌が性交・オーラルセックス・キスなどにより尿路や性器に感染することで起こります。感染部位としては性器、尿道だけでなく咽頭もあります。性器クラミジアに感染している女性の4人に1人は、咽頭からクラミジアが検出されたという報告もあります。相手が咽頭感染している場合、通常のキスでは感染する可能性は低いですが、ディープキスの場合は感染率が高くなると言われています。

Q3 症状について教えてください。

A 症状ですが、感染後数週間で発症しますが、無症状のことが多いです。男性の場合は、尿道から透明な膿が出る、排尿痛が出る場合もあります。女性の場合はおりものが増える、不正出血や下腹部痛が出る事がありますが、無症状のことが多いです。尿道に感染が広がると、膀胱炎症状を来すこともあります。

治療せずに放置しておくと、クラミジアが体内深部に侵入し、男性の場合は尿

2週間程度服用しないといけませんでしたが、現在は一回の服用で済みます。しかし薬の効かない耐性菌も増加していますので医師から完治の診断が出されるまで定期的に通院することが望ましいです。

Q6 最後に読者の皆様にアドバイスをお願いします。

A 本病は禁欲が最大の予防策でありますが、非現実的です。現実的な対策としては、不特定多数(確率的にその中に感染者が含まれているため)との性行為を避けることと定期的な検診に尽きると思います。コンドームの着用である程度予防することができますが100%ではありませんし、口から口へという場合などが考えられるので交際相手を選ぶ時は慎重にしたいものです。女性はその後遺症が非常に厄介です。一度感染すると炎症による卵管、骨盤内のダメージは相当なもので、後で絶対に回復しません。後の大切な人生を台無しにしないためにも不特定多数との性行為を避けることが大切です。また思い当たる節がある人は定期的な検診を心がけてください。